

第 11 回デフリンピック運営委員会 議事次第

日時：2025 年 6 月 9 日 13：00～15：00

場所：戸山サンライズ 2 階 大会議室

1. 委員長挨拶

2. 運営委員の辞任および就任について

3. 議題

(1) 2025 年度予算の修正について

【連盟】

4. 報告

(1) 2024 年度デフリンピック・フェスティバル実施報告

【連盟】

(2) 第 5 回コンプライアンス委員会について

【連盟】

(3) 第 6 回利益相反管理委員会について

【連盟】

(4) 2025 年度利益相反管理研修及びコンプライアンス研修の実施について【連盟】

(5) 未来へつながるプログラムについて

【連盟】

(6) 令和 7 年度デフリンピック気運醸成の都の主な取組について

【都】

(7) 大会の準備状況について

【事業団】

(8) 「つながる募金」によるキャッシュレス募金受付の開始について

【事業団】

(9) 協賛契約の状況等について

【事業団】

一般財団法人全日本ろうあ連盟デフリンピック運営委員会名簿

委員長

久松 三二	一般財団法人全日本ろうあ連盟常任理事
-------	--------------------

副委員長

薬師寺 道代	医師
--------	----

委員

石原 保志	国立大学法人筑波技術大学学長
延與 桂	公益社団法人東京都障害者スポーツ協会会長
小椋 武夫	一般社団法人山梨県聴覚障害者協会事務所長
畑中 淳子	弁護士
松橋 早友梨	デフリンピック選手
渡邊 知秀	東京都スポーツ推進本部長

事務局長

倉野直紀	デフリンピック運営委員会事務局
------	-----------------

3. 議題（1）2025年度予算の修正について

デフリンピック運営委員会 会計（抜粋）

単位：千円

科 目	当年度
I. 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1)経常収益	
受取寄付金	0
雑収益	0
経常収益計	0
(2)経常費用	
①事業費	
会議費	100
旅費交通費	3,400
通信費	50
消耗品費	100
広報費	200
雑役務費	906
事業費 計	4,756
経常費用計	4,756
当期経常増減額	-4,756

2. 経常外増減の部	
(1)経常外収益	
繰入金収入	4,600
経常外収益計	4,600
(2)経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	4,600
当期一般正味財産増減額	-156
一般正味財産期首残高	156
一般正味財産期末残高	0

※本予算案は、全日本ろうあ連盟評議員会において
2025年度予算案が可決した場合に確定する。

- ICSD等の連絡調整、気運醸成イベントの推進を、
全日本ろうあ連盟デフリンピック運営委員会が担当
- 2025年度の経費として、以下の経費を計上
 - ・ ICSDや関係団体等との調整、連携
 - ・ 全国の気運醸成イベントの推進
 - ・ 大会情報の発信
- 連盟の他会計からの繰入金により運営委員会の経常費用を充当

4. 報告（1）2024年度デフリンピック・フェスティバル実施報告

○ 目的

デフリンピックやデフスポーツへの関心を高め、認知の向上、および来る東京2025 デフリンピック大会に向けて全国の気運醸成を図る

○ 2024年度の実施状況・開催方法

- ・今までデフスポーツやデフリンピックに関心がなかった層および子どもたちの目に触れる機会を増やすこと、そしてデフアスリートやデフ競技についてより一層周知を図ることを狙いとし、大規模集客施設でのイベント実施や自治体または民間の大規模集客イベントに組み入れる形で、全国で9か所（11回）で実施した。
- ・開催地：福岡市（福岡県）、青森市（青森県）、横浜市（神奈川県）、徳島市（徳島県）、富士見市（埼玉県）、江東区（東京都）、亀岡市・京都市（京都府）、かほく市・白山市（石川県）、名古屋市（愛知県）
- ・運営委員会はその取り組みを後押しする為、地域ろう当事者団体へ1か所上限10万円の助成を行った。

○ 助成要件

- ・大会ビジョンにある「あらゆる人が協働」、「子どもの参画」、「デフスポーツやろう者の文化への理解を促進」、「共生社会づくりに貢献」等に留意し、デフリンピックやデフスポーツについて関心や認知度の向上を図り、デフリンピックの気運醸成に資するもの
- ・実施主体が、地域ろう当事者団体と地域行政や関係機関との共催、もしくは地域ろう当事者団体主催、地域行政後援

○ 対象とする経費

諸謝金、旅費、借損料、印刷製本費、消耗品費、通信運搬費、雑役務費、保険料、委託料

○ 助成金額

10万円（上限）

※本助成金に加え、他の補助金や参加費等の収入がある場合で、収入額が支出額を超過した場合は、超過した金額を差し引いて助成するものとする。

○ 助成承認手続き

開催要項、予算案、決算報告、証憑書類を運営委員会事務局にて審査

実施状況一覧

開催地	開催規模、内容	収支		○イベントの主催、協力等 ■フェスティバルの主催等
①福岡市（福岡県） 「東京2025デフリンピック」を九州から盛り上げていこう！	○9月8日（日） ○会場：大丸福岡天神店 エルガーラ・パサージュ広場 ○参加者：約400名 ○内容：デフリンピックに関する手話教室・啓発ブース	総事業費 100,064円	・対象経費 100,064円 消耗品費 38,430円 旅費 34,740円 他 26,894円	○主催：一般社団法人言葉のかけはし、（株）博多大丸九州探検隊 ■社会福祉法人福岡県聴覚障害者協会
		収入	助成金 100,000円 自己資金 64円	
②青森市（青森県） 手話言語の国際デー2024inあおもり	○9月23日（月祝） ○会場：青森県観光物産館アスパム ○参加者：約500名 ○内容：啓発映画上映、手話教室・国際手話教室、しゅわしゅわデフリンピックダンス、スタンプラリー、展示	総事業費 99,720円	・対象経費 99,720円 印刷費 46,640円 旅費 28,080円 謝金 25,000円	○主催：青森県、青森県ろうあ協会、青森県手話通訳士協会、青森県手話通訳問題研究会、青森県手話サークル連絡協議会 ■一般社団法人青森県ろうあ協会
		収入	助成金 99,720円	
③横浜市（神奈川県） デフリンピック・フェスティバル	○9月28日（土） ○会場：ららぽーと横浜 ○参加者：約350名 ○内容：デフリンピックPRブース、国際手話教室、ミニ手話教室	総事業費 93,160円	・対象経費 93,160円 謝金 90,500円 通信費 2,660円	○共催：全日本ろうあ連盟、三井不動産商業マネジメント株式会社 ■一般社団法人神奈川県聴覚障害者連盟
		収入	助成金 93,160円	
④徳島市（徳島県） デフリンピック・フェスティバルinとくしま	○10月14日（月祝） ○会場：県立障がい者スポーツセンター ○参加者：約160名 ○内容：デフリンピック映画上映会・手話体験・スポーツ体験・展示	総事業費 141,093円	・対象経費 124,203円 印刷費 113,216円 通信費 5,500円 他 5,487円 ・対象外経費 16,890円 旅費 7,760円 他 9,130円	○共催：四国ろうあ連盟、四国ろうあ連盟スポーツ委員会、徳島県パラスポーツ協会 ○後援・協力：徳島県、徳島市、他 ■特定非営利活動法人徳島県聴覚障害者福祉協会
		収入	助成金 100,000円 自己資金 41,093円	

開催地	開催規模、内容	収支			○イベントの主催、協力等 ■フェスティバルの主催等
⑤富士見市（埼玉県） デフリンピック・フェスティバル	○10月19日（土）・20日（日） ○会場：ららぽーと富士見 ○対象：約470名 ○内容：デフリンピックPR、展示、ミニ手話講座、ぬり絵	総事業費 87,463円	・対象経費 印刷費 消耗品費	87,463円 69,810円 17,653円	○共催：全日本ろうあ連盟、三井不動産商業マネジメント株式会社 協力：埼玉県手話通訳問題研究会、埼玉県手話サークル連絡協議会、埼玉県、富士見市、三芳町 ■一般社団法人埼玉県聴覚障害者協会
		収入	助成金	87,463円	
⑥江東区（東京都） デフリンピック・フェスティバル	○10月27日（日） ○会場：ららぽーと豊洲 ○参加者：約120名 ○内容：デフリンピックPRブース、手話・身振り学習コーナー、展示	総事業費 103,386円	・対象経費 印刷費 旅費 他	103,386円 79,613円 15,290円 8,483円	○共催：全日本ろうあ連盟、三井不動産商業マネジメント株式会社 ■東京都聴覚障害者連盟
		収入	助成金 自己資金	100,000円 3,386円	
⑦亀岡市・京都市（京都府） デフリンピック・フェスティバルinきょうと	(1)11月9日（土） ○会場：かめきたサンガ広場 ○参加者：約15,600名 (2)12月14(土)・15(日) ○会場：かたおかアリーナ京都 ○参加者：約8,200名 ○内容：(1) (2)とも 啓発チラシ配布、啓発動画視聴、ミニ手話体験コーナー、デフリンピック出場選手による質疑応答コーナー、展示	総事業 85,575円	・対象経費 旅費 印刷費 他	85,575円 35,960円 24,890円 24,725円	○協力： (1) (株)京都パープルサンガ (2)スポーツコミュニケーションKYOTO(株) ■近畿ろうあ連盟、一般社団法人京都府聴覚障害者協会
		収入	助成金 自己資金	75,575円 10,000円	

開催地	開催規模、内容	収支		○イベントの主催、協力等 ■フェスティバルの主催等
⑧かほく市・白山市（石川県） (1)デフリンピック気運醸成事業 (2)パラスポーツフォーラム	(1)12月1日（日） ○会場：かほく市総合体育館 ○参加者：プロ卓球チーム試合の観戦者 約50名 ○内容：デフリンピックPRブース・手話体験コーナー (2)2月11日（祝） ○会場：イオンモール白山 ○参加者：約80名 ○内容：手話体験、デフアスリートトークショー、デフリンピックPR	総事業費 80,034円	・対象経費 80,034円 消耗品費 26,384円 雑役務費 13,400円 旅費 13,048円 他 27,202円	○主催： (1)石川県 (2)石川県、県障害者スポーツ協会 ■社会福祉法人石川県聴覚障害者協会
		収入	助成金 80,034円	
⑨名古屋市（愛知県） あいちパラスポPARK	○2月22日（土） ○会場：愛知県体育館 ○参加者：約250名 ○内容：日本手話言語・国際手話体験、パネル展示等	総事業費 87,373円	・対象経費 87,373円 印刷費 39,661円 謝金 30,000円 旅費 16,040円 他 1,672円	○主催：愛知県 ■一般社団法人愛知県聴覚障害者協会
		収入	助成金 87,373円	

4. 報告（2）第5回コンプライアンス委員会について

- コンプライアンス委員会は、運営委員会のコンプライアンスの推進に係る重要な方針の策定や啓発、連盟理事、監事および運営委員会の運営委員、運営委員会事務局職員のコンプライアンス違反への対応について、運営委員会の諮問に対し審議し、意見を具申する。
- 3月31日に第5回コンプライアンス委員会を開催し、以下の事項について審議を行った。
- 2025年度は2回開催予定。

主な審議事項	審議結果
2024年度コンプライアンス推進計画の達成状況について	2024年度の達成状況（ガバナンス確保、コンプライアンス教育、情報公開、監査体制等）について説明し、問題ないことを確認・承認された。
2025年度コンプライアンス推進計画（案）について	2024年度の推進計画を引続き行っていくことを中心に2025年度の推進計画を策定することを確認・承認された。
2025年度デフリンピック運営委員会研修実施計画（案）について	利益相反管理研修は4月に1回、コンプライアンス研修は4月と5月の2回実施することを確認・承認された。

4. 報告（3）第6回利益相反管理委員会について

- 利益相反管理委員会は、運営委員会の事業活動における取引の公正性や信頼性を確保するため、連盟理事、監事および運営委員会の運営委員、運営委員会事務局職員（以下「役職員等」という。）の利益相反関係を審査する。
- 3月14日に第6回利益相反管理委員会を開催し、役職員等からの利益相反自己申告書の審査及び利益相反管理チェックシートの確認について、審議を行った。

主な審議事項	審議結果
利益相反自己申告書の確認	役職員等（新たに着任されたもの）から提出された自己申告書を審査し、利益相反事項がないことを確認・承認された。
利益相反管理チェックシートの確認について	役職員等から提出された2024年度第4四半期分利益相反管理チェックシートを審査し、全件利益相反やチェック箇所の内容に問題がないことを確認・承認された。

4. 報告（4）2025年度利益相反管理研修及びコンプライアンス研修の実施について

全日本ろうあ連盟の理事・監事及びデフリンピック運営委員会の役職員を対象に、以下研修を実施する。

研修名	目的	時期	研修内容
コンプライアンス研修	コンプライアンス（法令遵守）推進	4月 (実施済)	○東京都スポーツ文化事業団との合同研修 ・テーマは「ガバナンスの基本的枠組み」と「ろう者の文化について」
		5月	【書面形式での研修】 ○法令遵守するための規範意識向上を図る。 ・コンプライアンスとは ・内部通報制度について ・国際スポーツ大会におけるコンプライアンス ・情報公開について ・個人情報について ・危機管理について
利益相反管理研修	利益相反管理体制と役職員が遵守すべきルールを理解促進を図る。	4月 (実施済)	【書面形式での研修】 ○利益相反管理のため新たに制定した規程や仕組みについて周知徹底し、職員が遵守すべきルールの理解を図る。 ・利益相反とは ・スポーツ団体における利益相反について

4. 報告（5）未来へつながるプログラムについて

1 「未来へつながるプログラム」(2024年10月公表)の実施状況について

- 2025年3月末時点で、20件の依頼あり。
- 提供コンテンツの一つである映画「みんなのデフリンピック」については、教育機関に限り無償で提供。36校が活用。
- 実施レポートを、デフリンピック大会ポータルサイトに掲載。<https://www.deaflympics2025.com/mirai/report>

【プログラム概要】

教育ワークショップ型プログラム

小・中学校で、デフスポーツやデフリンピック、きこえないことや手話言語についての授業を実施し、子どもたちの理解・関心を高めてもらうためのプログラム。

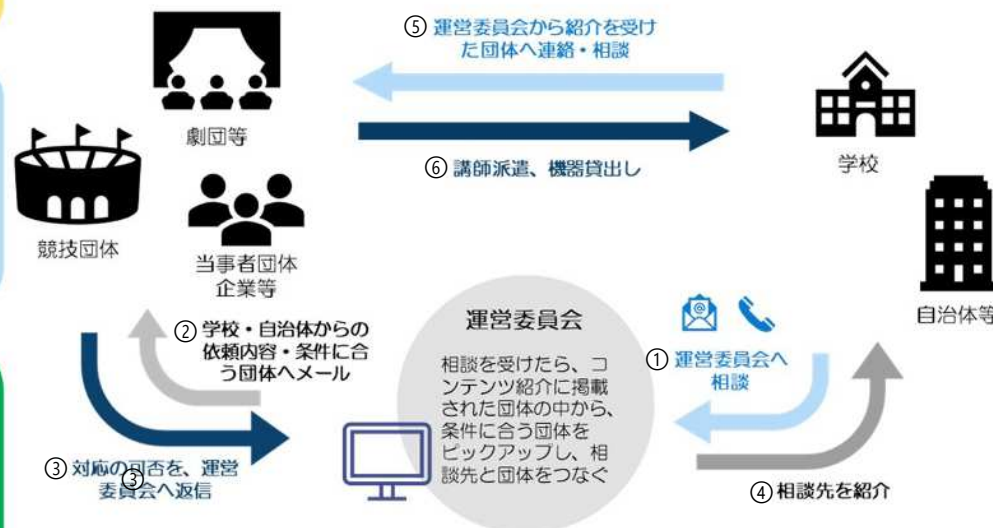
イベントワークショップ型プログラム

多くの市民が集まるイベントや施設を活用し、デフスポーツやデフリンピック、きこえないことや手話言語、ろう者の文化活動、情報保障機器などを体験してもらうためのプログラム。

コンテンツ紹介

小中学校や自治体が各プログラムを実施するにあたり、その取り組みを支援するため、参考となる団体等をHP上で紹介。講師依頼や機器・素材の貸出に関する情報を、以下の4つに分けて掲載。

- ①デフスポーツに関すること
- ②きこえないことや手話言語に関すること
- ③ろう者の社会活動に関すること
- ④展示ブースに関すること



2 教育ワークショップ型プログラムの拡充について

- 全日本ろうあ連盟が受託した、スポーツ庁の令和6年度障害者スポーツ振興事業「パラスポーツイベント開催支援」事業（ろう学校等の児童・生徒に対する体験学習等）の対象として、未来へつながるプログラムの「教育ワークショップ型プログラム」を位置づけることとした。
- これにより、対象校に「ろう学校を含む特別支援学校」も加えるととともに、プログラムを実施する際の、講師謝金、手話通訳費用の一部を連盟が負担することとし、より多くの子どもたちがプログラムを体験できる環境整備を促進していく。
- 第1次募集で24件の申込あり。今後、予定回数以上の申込があった場合は抽選を行う。
- 実施状況は随時ホームページにて公表予定。

	未来へつながるプログラム「教育ワークショップ型プログラム」	
	2024年度	2025年度 拡充内容
目的	デフスポーツやデフリンピック、きこえないことや手話言語、ろう者の社会活動、情報保障機器等について体験し理解を深め、障がいや多様性について考えるきっかけをつくり、東京2025デフリンピックに向けた気運醸成と共生社会の実現を図る。	
対象	小中学校	ろう学校、小中学校（特支含む）
依頼から講師派遣までの流れ	学校が、実施したい内容をあらかじめ検討した上で連盟へ依頼。連盟は、その内容に合った講師・団体等を紹介し双方を繋ぐ。	
申込受付	申込受付:随時 授業実施期間:10月31日まで	申込受付:第1次募集2025年4月1日～4月21日 第2次募集2025年6月1日～6月23日 授業実施期間:2025年5月1日～11月14日
費用負担	講師謝礼金、交通費、手話通訳の派遣、その他消耗品等、すべての経費について依頼者負担。	プログラム実施に係る費用について、一部を連盟が負担。 【上限金額・上限人数】 ・講師謝礼金 1校あたり20,000円×1名（交通費含、源泉徴収税込） ・手話言語通訳者の手配に係る経費 1校あたり10,000円×2名（交通費含、源泉徴収対象外）
学習教材の提供	・参考指導案、デフリンピック紹介パンフレット・啓発チラシ等のデータダウンロード ・映像教材：映画「みんなのデフリンピック」	左記に加え、きこえる子ども向け・きこえない子ども向けの2種類のパンフレットを作成し、体験授業を実施する学校に配布。

※イベントワークショップ型プログラムについては、要件等に変更なし。

4. 報告（6）令和7年度デフリンピック気運醸成の都の主な取組について

多くの皆様に大会に参画してもらえよう、関係者と連携して、様々な機会を捉えて大会への関心を高める取組を幅広く展開。デフリンピックの更なる認知度向上を図るとともに、大会の気運を盛り上げていく。

これまでの取組

- 手話表現をベースに動きで応援を伝えるサインエールをスポーツイベント等で紹介、幅広く普及
- 大会200日前イベントとして、都内小学校でアンバサダーやデフアスリートによる特別授業を実施
- 事業者等と連携し、SusHi Tech Tokyo2025においてユニバーサルコミュニケーション（UC）技術をPR競技会場等における技術活用の実証を実施



▲ 4/2 デフサッカー日本代表VSクリアソン新宿でのサインエールの様子（国立競技場）



▲ 5/9 中野区立桃花小学校での特別授業の様子（左：川俣郁美さん 右：デフテコンドー 星野萌選手）

今後の取組

- 大会時の活用を見据えて、サインエールの精度を高めていくとともに、様々な機会を捉えて周知
- 大会に向けて、100日前などの節目にデフアスリート等を招いたイベントを実施するほか、カウントダウンモニュメントを制作し、福島及び静岡を含む全競技会場を巡回
- Webサイト・SNSをはじめとした多様なメディアでの情報発信に加え、大会直前期に集中的に広報を展開
- 年間を通じ、区市町村等が主催するイベントにPRブースを出展。バッジやポスター等を全国に配布
- 大会でのUC技術の活用に向けて、技術活用の実証を含め準備を着実に進める
- 都内の小中高等学校等を対象として、子供観戦・体験活動事業を実施



4. 報告（7）大会の準備状況について

東京2025デフリンピック 大会の準備状況について

○種目別のセッションスケジュールについて

- ・ 種目別の試合予定時間を記したセッションスケジュールを公表（6月18日予定）

○各競技の観戦について

- ・ 各競技の観戦は無料
- ・ 競技会場ごとの詳細（収容人数・開場時間等）を公表予定（8月頃予定）

○開閉会式の観覧について

- ・ 開閉会式は東京体育館で実施。観覧は無料
- ・ 詳細は今後公表予定



4. 報告（8）「つながる募金」によるキャッシュレス募金受付の開始について

キャッシュレス募金について

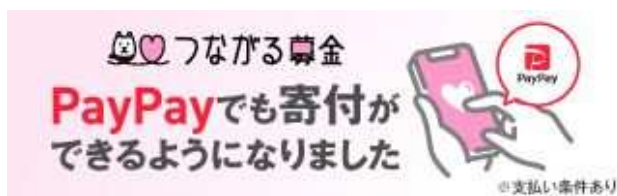
スマートフォン等から、より便利に、気軽に大会に参画できる仕組みとして、
現在、Vポイント、「d払い®」、Amazon Payの3つの方法による募金を実施中。

令和7年6月上旬から新たにソフトバンクの「つながる募金」による受付を開始。



○ソフトバンクの「つながる」募金

- ・ソフトバンクの募金公式サイトより専用ページにアクセスし、希望の金額を入力する（「100円」、「500円」、「1,000円」、「3,000円」、「5,000円」、「10,000円」位）
- ・PayPay及びクレジットカードによる募金が可能





4. 報告（9）協賛契約の状況等について

協賛契約の状況等について（64者67件）

1 トータルサポートメンバー（48件）

企業・団体名	公表日	企業・団体名	公表日	企業・団体名	公表日
株式会社はとバス	2024年9月17日	株式会社TBグループ	2025年2月21日	株式会社オリエントコーポレーション	2025年4月18日
株式会社光文堂インターナショナル		株式会社TOWA		東京パワーテクノロジー株式会社	2025年5月2日
株式会社ゼンリンデータコム		東京新聞 （株式会社中日新聞社東京本社）		大塚製薬株式会社	
株式会社ジェイ・ブロード		太平電業株式会社		塩野義製薬株式会社	2025年5月23日
リオン株式会社	2024年11月13日	ソフトバンク株式会社	2025年2月28日	株式会社フジミインコーポレーテッド	
住友電設株式会社		株式会社INPEX	2025年3月14日	文化シャッター株式会社	
アデッソ株式会社		東京地下鉄株式会社		株式会社スーパーアルプス	
株式会社ジャパンディスプレイ		社会福祉法人友愛十字会		株式会社博報堂テクノロジーズ	2025年6月6日
株式会社リードビジョン	2024年11月26日	日興アセットマネジメント 株式会社		あいおいニッセイ同和損害保険 株式会社	
岡山放送株式会社		東京メトロポリタンテレビジョン 株式会社		株式会社博報堂DYアイ・オー	
アマゾンジャパン合同会社		株式会社Asian Bridge		一般財団法人日本財団 電話リレーサービス	
株式会社 JTB	2025年1月24日	株式会社大林組	2025年4月2日		
株式会社読売新聞東京本社		デマント・ジャパン株式会社			
株式会社朝日新聞社		株式会社ウォーターネット			
株式会社アシックス		株式会社オープンハウスグループ			
株式会社TBSホールディングス	2025年1月24日	株式会社日本コクレア	2025年4月2日		
SMBC日興証券株式会社		公益財団法人山田昇記念財団			
ケイアイスター不動産株式会社					
株式会社アイシン					
東日本旅客鉄道株式会社					



協賛契約の状況等について（64者67件）

2 ゲームズサポートメンバー（19件）

企業・団体名	競技	公表日
株式会社キャスト・ワークス	サッカー	2024年11月13日
株式会社ティーケーラボ	サッカー	
富士通株式会社	卓球	
えびすや土産店	オリエンテーリング	2025年1月24日
太平電業株式会社	陸上・卓球	2025年2月21日
株式会社カインズ	バスケットボール	
株式会社CCCMKホールディングス	サッカー	
株式会社リコー	バスケットボール	
住友電設株式会社	卓球・サッカー バレーボール	2025年3月14日
株式会社鼓月	陸上	2025年4月2日
東京パワーテクノロジー株式会社	陸上・サッカー	2025年4月18日
ライフネット生命保険株式会社	陸上	
株式会社岩手リオン補聴器センター	サッカー	

企業・団体名	競技	公表日
日機通商株式会社	サッカー	2025年5月23日
株式会社マルズ	サッカー	
山崎製パン株式会社	陸上	2025年6月6日
サノフィ株式会社	陸上	
戸田ビルパートナーズ株式会社	陸上	
SBI損害保険株式会社	サッカー	

※太平電業株式会社、住友電設株式会社、東京パワーテクノロジー株式会社が
トータル・ゲームズの両カテゴリーで協賛しているため、合計は64者となる。